

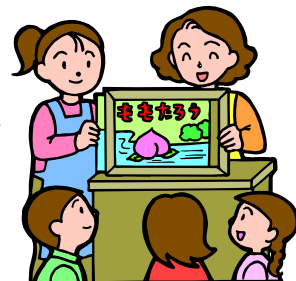
「絵本の読み聞かせ」について

以前にも紹介しましたが、学校評議員の徳丸さんや岩本さんを中心とする会の方々が、幼稚園に月2回ほど「読み聞かせ」に来てくれています。その度に私が思い出すのは、わが子に絵本を読んでいた頃のことです。最初は本をただめくだけで喜んでいました。

少し大きくなると、こちらが呆れるくらい毎日同じ本を読まされていました。また、こちらのペースではなかなか読み終わらず何度も前のページに戻ったりして、一冊読み終わる頃にはぐったりしていたことを覚えています。こどもが4～5才の頃、ある日二人で留守番をしていた時のことです。妙に大人しいなと思って部屋をのぞきに行くと、わが子がベッドの上で静かに泣いているのです。びっくりして「どうかした？」と理由を聞くと、「赤ずきんちゃんがかawaiiそう」という返事でした。わが子は一人で絵本の「赤ずきんちゃん」を読んで、その内容に涙が溢れていたのです。私が前に読んであげたときはそんな反応を見たことがなかっただけに驚いたのを覚えています。それからは、絵本を読むときの心構えを少しだけですが切り替えました。下手なりに一生懸命読んであげようと。

今はまだ、こどもたちは字が読めなくて当然です。絵本の良さは、絵の面白さから感じることや考えることがたくさんあることです。さらに読む人が感情や状況を表現するような「読み聞かせ」でお話に没頭していけるところにあります。

幼稚園での「読み聞かせ」でも、こどもたちの表情は豊かです。同じお話を聞いていても、感じていることは一人一人違うものになっているかもしれません。それでもその時間で確実に心は豊かになっていると思います。



6月の読み聞かせの様子。



雨の日も室内でいろいろな遊びをしています。



水遊びを楽しんでいます。



体調管理をお願いします。

帽子の着用や衣服調整、こまめな水分補給など熱中症対策が大切な季節が続きます。しかし健康管理の第一は規則正しくバランスのとれた栄養摂取と適度な運動、そして十分な睡眠です。それが元気の園生活の基礎となります。

忙しい毎日の中ですが、よろしくお願いします。

